NEWS RELEASE

2026 年 5 月 13 日
株式会社マーキュリアホールディングス
（コード番号：7347 東証プライム）

早稲田大学ビジネススクールの講義に
当社代表取締役の豊島がゲスト講師として登壇しました

2026 年 4 月 28 日（火）、早稲田大学ビジネススクール（以下、「WBS」といいます。）の講義「Japanese Management」（担当教授：池上重輔）に株式会社マーキュリアホールディングス（以下、「当社」といいます。）代表取締役の豊島がゲスト講師として登壇しました。

【科目名】

Japanese Management：日本企業の強み・課題・経営スタイルをグローバルな視点で理解し、実際のビジネスに活かす力を養うことを目的とした WBS 研究科長 池上重輔教授の日・英併用講義。

【講義内容】

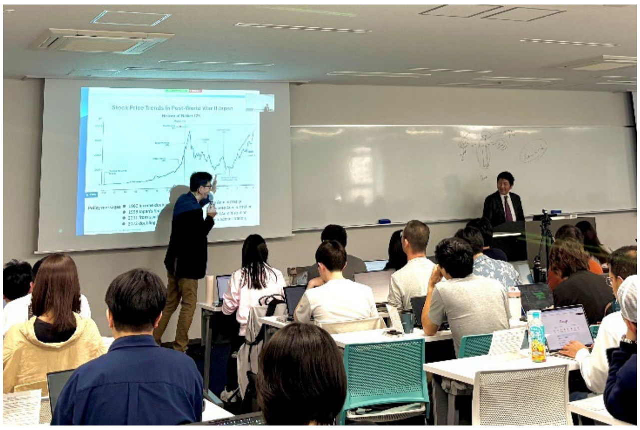
交換留学生を含む国際色豊かな約 100 名の WBS の MBA 生に向け、主に以下の内容について 90 分程度の英語・日本語による講義を行いました。

- **学問を体系的に学ぶことによるビジネス世界での有用性**
- **日本経済の軌跡と金融の役割：**戦前・戦後からバブル崩壊以降の歩みと欧米との比較
- **構造的課題への挑戦：**当社が乗り越えた 4 つの壁（国、心、世代、市場）と、その背景にある制度・経済事情

講義後には、日本経済の今後の展望や成長の可能性について多くの質問が寄せられ、学生から活発な意見交換が行われました。当社の事業戦略や考え方につき、次世代を担う層に直接お伝えし、高い関心が寄せられる充実した機会となりました。

【早稲田大学ビジネススクール 池上教授 コメント】

日本と世界のマクロな政治経済の変化を、マーキュリアインベストメントの戦略変化という具体例につなげて語っていただいたので、講義で使っている"Institution（制度）"と"Strategy & Organization（戦略と組織）"と"Culture（文化）"の 3 層構造のフレームワークと絶妙なフィットがあり、学生の理解が一層深まったかと思います。講義後にはその次の授業が間に合わなくなるほどに学生からの質問の行列ができていたのも印象深かったです。



【当社グループが目指す「オルタナティブの民主化」について】

マーキュリアグループが管理・運営を行っているファンドは「オルタナティブ（代替）投資」に分類されます。伝統的 4 資産に比べて流動性が低く、投資期間も比較的長期に及びますが、相応の超過リターンの獲得を目指す投資戦略です。欧米と比較してオルタナティブ投資への認知が十分に浸透していない日本において、本投資に関する魅力を広く伝えることも当社の重要な役割であると考えています。今後も、大学での登壇やメディア出演など様々な機会を通じて、日本におけるオルタナティブ投資の普及・啓蒙に貢献して参ります。

以上

【マーキュリアホールディングスの概要】

会社名	：株式会社マーキュリアホールディングス
本社所在地	：東京都千代田区内幸町 1 丁目 3 番 3 号 内幸町ダイビル
事業内容	：持株会社
代表者	：代表取締役 豊島 俊弘
Website	：https://www.mercuria.jp/

私たちは「ファンドの力で、日本の今を変える」をミッションとし、事業を行っています。

※本リリースに関するお問い合わせ先
株式会社マーキュリアホールディングス
事業企画部
Mail ：info@mercuria-hd.jp